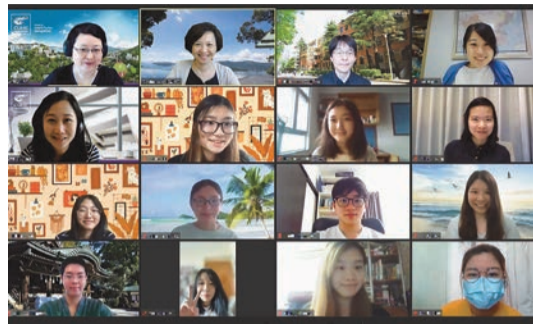


# 第一線で活躍する実業家も登壇 香港中文大学との連携プログラム バーチャルツーリズムの企画提案に取り組む



8月2日から13日の日程で、本学と協定校の香港中文大学による連携プログラムがオンラインで実施され、本学学生3人と同大で観光学やホテル経営学を学ぶ9人の計12人が参加した。

今回のプログラムは、バーチャルツーリズム企画提案する課題が提示された。

面談混合の2チームは、日本政府観光局(JNTO)・香港事務所に勤務する本学卒業生からの助言を得ながらグループワークに取り組み、期間中、視聴者に没入感を伴った映像体験を提供する実写VR映像制作の第一人者として知られる株式会社

最終プレゼンテーションでは、人気ゲームのポケモンGOを活用した香港の文化を体験する新春イベント企画と、ピュアルデータを活用して日本・香港間のフライトを表現しながら、両者を交えて語っている。

また、経済学部長の網倉久永教授をはじめ、6人の教員が登場し、それぞれの立場から見た在学生の様子や、学部の特徴などを紹介。杉谷陽子経営学教授は、カトリックの大学として大切にしてきた「他者のために」という考え方や、SDGで標榜されている「誰ひとり取り残さない」という考え方の親和性について語っている。

そのほか、動画の中にはドローンによるキャンパスの上空映像や、学内の各施設の映像なども使われており、キャンパス

の食文化を楽しむツアー企画の2案が発表された。両校の教員をはじめた審査員からは、学生ならではの着眼点と大胆な発想が高く評価され、参加学生にとっては貴重な学びの場となった。

コーディネーターを務めた経済学部経営学科の網倉久永教授は、「完全オンラインでのプログラムなので、どこまで教育効果が得られるか、実施前には危惧していた。しかし、最終成果の水準の高さから、両校の学生は真摯に課題に取り組み、チームとして創造性を発揮してきたことがうかがえる。オンラインで信頼を築き、友情を育むスキルを習得してもらえた」と振り返った。

この8月にWEBサイトをリニューアルした。

学生ならでの着眼点や大胆な発想で審査員を驚かせた

バーチャルツーリズム企画提案する課題が提示された。

## 動画「Learning at Sophia」

### 経済学部 編 公開

学生や教員が学部の魅力を語る

学生や教員が、所属学部「Learning at Sophia」の第1弾として、経済学部編が公開された。

この動画シリーズは、主に受験生を対象に、大学選びの参考にしようという目的として制作された。各学部の特徴に触れながら、本学在学中にどのような成長を遂げるのか、自分自身に重ねてイメージできるように構成となっている。

経済学部編では、さまざまなことにチャレンジしている在学生や海外大学院への留学を控えた卒業生が登場。「入学前は海外経験もなかったが、多様なバックグラウンドを持つ人々と出会い、もっと広い世界を見たいと思うようになった」と、入学後の成長や経済学部での学びを経て見つけた将来の夢などを、自身の体験



学内の雰囲気も感じられる。この動画シリーズは、主に受験生を対象に、大学選びの参考にしようという目的として制作された。各学部の特徴に触れながら、本学在学中にどのような成長を遂げるのか、自分自身に重ねてイメージできるように構成となっている。

## SOPHIA未来募金 WEBサイトリニューアル 「寄付者の声」などコンテンツも充実

本学の学生・教育研究活動への支援を目的とし、2014年より寄付募集を展開しているSOPHIA未来募金では、この8月にWEBサイトをリニューアルした。



今回のリニューアルでは、昨今海外大学を中心に「寄付」の意味で一般的に使用されている「giving」をURLに組み入れ、海外に住んでいる支援者への周知も意識したものとしました。また、スマートフォン・タブレットからの閲覧時にレイアウトを最適化することで、個人・卒業生団体の寄付手続きのしやすさを向上させることと、経歴、寄付に貢献した寄付者を数人取り入れ、募金の依頼だけでなく、本学の魅力ある取り組みも積極的に発信していく予定です。

担当者は、「より多くの支援者の方々がWEBサイトを訪れ、大学ならびに本学学生の取り組みに共感いただき、さらなるご支援につながれば」と話している。

※SOPHIA未来募金および募金WEBサイトについてのお問い合わせは、総務局ソフィア連携室(TEL03-3238-3198)まで

今回のリニューアルでは、利便性の向上を図った。コンテンツについても、「読み物」を中心とした情報発信を展開している。その中の1つである「寄付者の声」は、実際に未来募金へ寄付をいただいた個人・法人・篤志家の中から、多大なる貢献と連動したコンテンツを取り入れ、募金の依頼だけでなく、本学の魅力ある取り組みも積極的に発信していく予定です。

担当者は、「より多くの支援者の方々がWEBサイトを訪れ、大学ならびに本学学生の取り組みに共感いただき、さらなるご支援につながれば」と話している。

※SOPHIA未来募金および募金WEBサイトについてのお問い合わせは、総務局ソフィア連携室(TEL03-3238-3198)まで

第16回「国連Weeks October 2021」 10月11日(月)～25日(月)	
シンポジウム 10/11(月)	エスピノサ第73回国連総会議長 パンデミック下のグローバル・ヘルスガバナンスの課題
シンポジウム 10/12(火)	紛争及び高リスク地域におけるビジネスと人権
シンポジウム 10/15(金)	持続可能な社会を構築するための「社会変革」と森林
シンポジウム 10/18(月)	UNEP-IETC企画 UNEP職員と考える！ごみ問題とSDGs
講演会&セッション 10/19(火)、21(木)	オンラインによるキャリア・セッション 国際機関・国際協力 キャリア・ワークショップ
講演会 10/20(水)	モハメッド国連副事務総長 SDGs実施へのグローバル課題
シンポジウム 10/22(金)	持続可能な社会に向けたエネルギーと太陽電池

\*今回の国連Weeksは、すべてZoomによるオンライン開催となります。  
\*各イベントの詳細および参加申込みは、下記URLまたはQRコードからご確認ください。  
<https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/program/UNWeeks.html>

1927年生まれ。64年早稲田大学大学院理工学研究科機械工学専攻満期退学。工学博士(72年早稲田大学)。

65年本学理工学部機械工学科助教授、75年同教授、93年同特任教授、97年同特別契約教授。98年から本学名誉教授。

76年4月～78年3月機械工学科長、79年4月～81年3月機械工学専攻主任を務めた。

1929年生まれ。62年本学大学院西洋文化研究科ドイツ文学専攻博士課程満期退学。Dr. phil. (68年ドイツ・ボン大学)。

68年本学文学部ドイツ文学科専任講師、71年同助教授、78年同教授。

1949年生まれ。73年本学文学部英文学科卒業。75年本学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程修了。

同志社女子大学を経て、95年本学文学部英文学科教授。2016年から本学名誉教授。

09年4月～13年3月文学研究科委員長、13年4月～15年3月文学部長を務めた。

著書に『コーヒー・ハウスー都市の生活史』(駿々堂出版)、『クラブ18世紀—イギリス政治の裏面史』(駿々堂出版)など。専門は18世紀イギリス文学・近代イギリス文化。

著書に『演習 機械工学』(共著、オーム社)、『機械騒音ハンドブック』(共著、産業図書)など。専門は機械工学。高橋由利子名誉教授逝去

7月27日、心不全のため死去。73歳。

1948年生まれ。71年慶應義塾大学文学部中国文学科卒業。74年お茶の水女子大学人文科学研究所中国文学専攻修士課程修了。

80年本学外国語学部講師、89年同比較文化学部助教授、2000年同教授、12年同言語教育研究センター教授。14年から本学名誉教授。

著書に『漢学研究データベースシステム ユーザーズマニュアル』(お茶の水女子大学説文的研究「段玉裁の説文研究」(六甲出版)など。専門は中国古典文献学・中国近現代文学。

中井千之名誉教授逝去

8月1日、老衰のため死去。92歳。

1929年生まれ。62年本学大学院西洋文化研究科ドイツ文学専攻博士課程満期退学。Dr. phil. (68年ドイツ・ボン大学)。

68年本学文学部ドイツ文学科専任講師、71年同助教授、78年同教授。

小林章夫名誉教授逝去

8月5日、心不全のため死去。71歳。

1949年生まれ。73年本学文学部英文学科卒業。75年本学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程修了。

同志社女子大学を経て、95年本学文学部英文学科教授。2016年から本学名誉教授。

09年4月～13年3月文学研究科委員長、13年4月～15年3月文学部長を務めた。

著書に『コーヒー・ハウスー都市の生活史』(駿々堂出版)、『クラブ18世紀—イギリス政治の裏面史』(駿々堂出版)など。専門は18世紀イギリス文学・近代イギリス文化。